

第2編

財務諸表と企業分析

| 種 類 | 1 種 | | 2 種 | |
|--------------|---|----------|---------------|----------|
| 配点(推定) | 20点 / 440点満点中 | | 20点 / 300点満点中 | |
| 出題形式 (推定) | ○×問題 | 5問(10点分) | ○×問題 | 5問(10点分) |
| | 5肢選択問題 | 1問(10点分) | 5肢選択問題 | 1問(10点分) |
| 対 策 | <p>まずは貸借対照表と損益計算書の仕組みを理解し、これらを構成する各勘定の内訳を理解して覚える必要があります。特に貸借対照表と損益計算書の基本型がわからないと、後の企業分析も理解できないのでしっかりマスターして下さい。キャッシュ・フロー計算書や連結財務諸表についても基本的な事項について出題されるので押えておきましょう。</p> <p>配当性向と配当率は計算問題の出題が多いところですので、しっかり計算できるようにしておきましょう。</p> <p>企業分析については必ず出題されるので得点できるようにしておく必要があります。特に収益性分析と安全性分析については公式を覚えておき、与えられた数値でしっかり答えを出せるようにして下さい。</p> <p>正誤問題は貸借対照表と損益計算書の細かなところ、連結財務諸表の基本及び配当性向や流動比率の式からの出題が多くなっています。</p> <p>5肢選択問題は計算問題が中心の出題で、財務諸表、配当性向・配当率、損益計算書をみて各種利益率の計算、損益分岐点分析などが出題されます。</p> | | | |

1 種

2 種